

令和6年度 あたご幼稚園
自己評価まとめ

※評価は平均値

令和6年度 あたご幼稚園 自己評価（園長）

評価 4.十分に達成されている 3.達成されている 2.取り組まれているが成果が十分でない 1.取り組みが不十分

評 価 分 類				評価	
				R6	R5
能力	幼稚園経営	1	職員に対して幼稚園経営の構想の共通理解を図り、教育目標達成に向けて、組織的、効率的な幼稚園運営を行っている。	3	3
		2	関係機関や家庭・地域との連携を適切に行いながら運営を行っている。	3	2
	管理運営能力	3	教育の管理等、園務を責任もって円滑に処理することができている。	3	3
		4	職員の服務管理を適切に行っている。	3	3
		5	職員の健康管理に留意し、安全安心な職場作りに努めている。	3	3
		6	緊急事態に対するマニュアル作りや施設・設備の安全点検を行うなど危機管理に対する意識をもっている。	3	3
	部下指導育成能力	7	職員の能力開発・育成が園長の責務であると自覚している。	3	3
		8	教育者として職員の手本となるような園務を行っている。	3	3
		9	職員の職務状況、能力、適性等についてよく把握している。	3	3
		10	職員を公正・公平に評価した上で、人材育成の観点からの確な指導・助言ができています。	3	2
	企画計画力	11	幼稚園運営等において取り組むべき課題を的確に把握、分析している。	3	3
		12	課題解決に有効な企画・計画の立案ができています。	2	3
		13	状況の変化に対応し、多角的な視点で課題の分析ができています。	2	3
実績	リーダーシップ	14	教育者として高い見識をもち、園の最高責任者としてふさわしいリーダーシップを発揮している。	3	3
		15	困難な問題も先頭に立って処理している。	3	2
		16	保護者や職員から信頼を寄せられている。	3	3
	判断力	17	的確な判断を行っている。	3	3
		18	判断にあたっては、職員等から意見を十分聴取するとともに、適切に情報の収集・分析を行っている。	2	3
		19	偏った判断をしていない。	3	3
	創意工夫	20	教育効果やコスト(時間的、人的コストを含む)の適切な分析を踏まえ創意工夫を凝らして幼児教育の向上のために必要な改善を行っている。	2	3
		21	事務改善や意識改革に積極的に取り組んでいる。	2	2
意欲・姿勢	規律性	22	就業規則に則り、規則を遵守している。	3	4
		23	自らの言動がハラスメントに該当することがないように留意するとともに、職場においてハラスメントの防止、排除に努めている。	4	4
	職場作り	24	自らが意欲的な職務姿勢を示し、職員のやる気向上に努めている。	3	3
		25	職員が自由闊達に議論し、やる気とやりがいを持つことができるような職場作りに努めている。	3	3

令和6年度 あたご幼稚園 自己評価（教諭）

【評価】 十分に達成したい 4 達成されている 3 取り組まれているが成果が十分ではない 2 取り組みが不十分

項 目		NO	内 容	評価	
				R6	R5
I 保 育 の 計 画 性	園の教育理念・教育方針の理解	1	園の教育理念や教育方針を理解し、共感している。	4	2.5
	幼稚園教育要領の理解	2	幼稚園教育要領を理解している。	3.75	2.5
		3	幼稚園教育要領について、園長や教職員と話し合っている。	3.25	2.75
	教育課程の編成	4	園の教育課程は幼児教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針に従い編成している。	3.75	3
		5	園の教育課程は園長が中心となり、教職員と協力し合って編成している。	3.75	3
		6	園の教育課程を理解し、それをもとに保育計画の立案をしている。	3.75	3
		7	園の教育課程は社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている。	3.75	3
	指導計画の作成	8	指導計画は園の方針、教育要領、教育課程、幼児の実態などを考えて作成している。	3.75	3
		9	指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している。	3.75	3
		10	長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しを行い、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるように作成している。	3.75	2.5
		11	指導計画は総合的な活動ができるように考慮して作成している。	3.75	2.5
		12	指導計画は幼児の興味や関心、意欲などを引き出したり活動を展開させたりする内容となっている。	3.75	2.5
	環境の構成	13	安全で清潔な環境構成をしている。	3.5	2.25
		14	指導計画に基づいて幼児が主体的に関わりたくなるような環境構成をしている。	3.75	2.5
		15	幼児が自ら活動を生み出していけるような素材や空間に出会えるようにし、活動を展開していけるような環境構成をしている。	3.25	2.5
		16	遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量を配慮して用意している。	3.25	2.75
		17	楽しい雰囲気の中で安定して遊び込める環境構成をしている。	4	3
		18	遊びや生活の中で数量や文字、図形などに関心を持つ工夫をしている。	4	2.75
		19	異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている。	3.5	2.75
		20	環境がより良くなるように改善や修繕を図っている。	3.25	2.5
	保育と計画の評価・反省	21	自分の保育と計画の評価・反省は日々行うようにし、次の保育と計画に生かせるようにしている。	3.5	2.5
		22	保育を見せ合い、評価・反省・検討をし、幼児の生活と自らの保育につなげている。	3.25	2
		23	日々の保育状況を振り返り、反省などを記録している。	3.75	2.5

健康と安全への配慮

24	朝の登園時は特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないか確かめている。	4	3
25	幼児の体調の変化に気づき、体調が悪そうな時は安静にさせたり、家庭へ連絡したりするなど適切な処置を行っている。	4	3
26	怪我や事故には特に気をつけ年齢に応じた適切な環境構成や声掛けを行っている。	4	3
27	万一事故や怪我が発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらうなど適切な処置を速やかに行っている。	4	3
28	日々教室等の安全点検を行い、修繕改善が必要な場合はすぐに措置を講じている。	3.25	2.25
29	園内に危険な箇所がないか、危険な遊びはないか、活動が年齢や能力に対して危険ではないかなどを常に観察している。	3.75	2.5
30	危険が予想される場合は、幼児たちと一緒に見たり考えたりして安全な用具遊具の使い方や遊び方について学べるようにしている。	3.75	2.5
31	教室の中の水飲場付近の清掃や、換気、採光、室温、湿度に気をつけている。	3.5	2.25
32	トイレの使い方について配慮し、正しい使い方を具体的に示している。	4	2.75
33	幼児に感染症予防対策、災害の怖さと避難の仕方、交通安全についての正しい知識が身に付くように指導している。	4	3
34	不審者が園内に侵入してきたときの教職員の行動について理解している。	2.25	1.75

幼児の見取りと理解

35	一人一人の幼児をよく観察し、状況を把握している。	3.75	2.5
36	一人一人の幼児の発達の姿や課題について理解できる。	3.75	2.5
37	幼児の話をよく聞いたり言葉にならない思いやサインを受け止めたりしている。	3.5	2.75
38	幼児同士の関わりの姿をとらえることができる。	3.5	2.5
39	幼児たちが今興味や関心をもっているものがわかる。	3.75	2.5
40	幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている。	3.25	2.5
41	幼児の理解のために保護者と話し合い、良い方向へと進むよう努力している。	3.5	2.25
42	幼児の姿を家庭での生活を踏まえて理解している。	3.75	2.5
43	幼児の姿を多面的にとらえることができる。	3.75	2.25

指導と関わり
(共同作業者として)

44	幼児に合わせて同じように動いてみたり、同じ目線に立ってものをみつめたりしている。	3.25	2.5
45	幼児の気持ちに共感しながら一緒によく遊んでいる。	3.25	2.25
46	一人一人の幼児の思いを把握して寄り添いながら関わっている。	3.75	2.5
47	幼児からのアイディアをくみとって遊びを深めている。	3.75	2.5

指導と関わり (あこがれを形成するモデルとして)	48	「先生のようにやってみたい」と幼児が思うようなモデルとしての姿勢を心掛けている	3.5	2.5
	49	教師らしい品位のある言葉、正しい日本語の用法を心掛けている。	3.25	2
	50	幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、関わり方をしないようにしている。	4	2.75
	51	善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でもモデルとなっている。	4	2.75
指導と関わり (心のよりどころとして)	52	幼児一人一人のありのままの姿を受け入れ、良さを認めようとしている。	4	2.75
	53	幼児の話をよく聞いたり、スキンシップを多くとったりしている。	3.75	2.75
指導と関わり (遊びの助言者として)	54	幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイディアを提供している。	3.5	2.5
	55	幼児の年齢に応じたわかりやすく楽しい遊びを提供している。	3.75	2.75
	56	幼児が自ら考え、工夫できるような見守りをしている。	3.75	2.5
	57	幼児を褒めたり励ましたり、目標を持たせるような声掛けをしている。	4	3
	58	禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせたりする言葉や態度は控えている。	2.5	1.75
	59	幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている。	3.5	2.25
その他	60	幼児を無視したり、体罰を加えたりすることはどのような場合もしていない。	4	2.75
	61	幼児の家庭環境やこれまでの生育歴などを考慮して関わっているが、とらわれ過ぎにも充分気を付けている。	3.75	2.25
保育者同士の 協力・連携	62	クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な声掛けや対応をしている。	3.75	2.75
	63	幼児のことや保育内容について教職員間へ積極的に情報を提供したり、相談したりしている。	3.75	2.5
	64	教職員全員が全ての幼児についてある程度理解し合えるよう様々な工夫をしている。	3.75	2.5
	65	指導上配慮を必要とする幼児については、教職員全体で特によく話し合い、共通理解のもと対応するようにしている。	3.75	3
	66	他のクラスや異年齢の幼児たちと関われるよう、様々な保育の形態を取り入れている。	3.25	3

Ⅲ 保育者としての資質や能力・良識・適正

専門家としての能力・良識・義務 (専門家としての能力)	67	幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付け、さらにより高度な専門知識や技能を身に付けようと研修している。	3	2
	68	保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている。	3.25	2
	69	仕事の手順をよく考え、能率よく行っている。	2.75	1.75
	70	保育時間外でも保育者として誇りと自覚を持った言動を心掛けている。	3.25	2.25
	71	幼児や保護者との対応は公平さを欠かないようにしている。	4	2.5
	72	朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めている。	4	2.75
	73	何かをしてもらったら感謝の気持ちを言葉で表している。	4	2.75
	74	園の消耗品や教材は節約して使っている。	3.5	2.5
	75	園の消耗品や教材は後で使う人が困らないように補充している。	3.75	2.75
	76	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感を心掛けている。	4	2.75
	77	自らの健康や衛生面などにも配慮し、保育をする上での安全性にも気を付けている。	4	2.5
	78	教職員や園内の出来事、又、職務上、知り得た園関係者のプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	4	3
	79	幼稚園の電話やコピー、紙や教材など私用に使っていない。	4	3
	80	園の重要書類は持ち出していない。	4	3
	81	教材、教具の管理、点検に気を配っている。	3.75	2.5
	82	クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している。	3.25	2
	83	現金の管理は間違いのないように行っている。	4	2.75
	84	締切のある仕事や提出日は期日をきちんと守っている。	3.5	2.5
	85	教職員や園の批判を軽はずみにしていない。	4	3
組織の一員としての在り方	86	教職員全体で一つのチームであることを意識している。	4	3
	87	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べたりすることができる。	3.75	2.75
	88	自分の意見と異なる結果となっても決定したことには協力、実行している。	4	3
	89	幼児のこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や教頭に報告、連絡、相談している。	3.75	3
組織の一員としての在り方	90	当番や役割による仕事は確実に行っている。	2.75	2
	91	上司の指示、命令には責任を持って実行している。	3.75	2.75
	92	教職員全体と親しく付き合い、偏った人間関係をつくっていない。	4	3
保育の楽しみ喜び	93	幼児と会話をしたり遊んだりすることが好きである。	4	2.75
	94	幼児のささやかな成長が理解できてそれを喜ぶことができる。	4	3

Ⅲ 保育者としての資質や能力・良識・適正	保育の楽しみ 喜び	95	幼児と一緒に苦しんだり考えたりすることができる。	4	3
		96	幼児と一緒に生活を創り出すことが楽しい。	4	3
	周りを感じとれる 感性・アンテナ	97	幼児や教育に関する情報をたえずとらえようとしている。	3.75	2.5
		98	幼稚園や幼児のことだけではなく、自然や社会の出来事にも興味がある。	3.75	2.5
		99	自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている。	4	2.75
		100	地域のことに関心がある。	4	2.5
	情報の発信と 受信	101	クラスや幼児の様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりなどで知らせている。	3.75	2.75
		102	電話、連絡帳などで、緊急な連絡等を行っている。	3.75	3
		103	場合によっては個別に保育の様子や幼児の様子を見てもらったり、保護者と話し合ったりしている。	3.75	2
		104	いつでも保護者と個別懇談が行えるようにしている。	4	3
		105	自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞くように努めている。	3.25	2
Ⅳ 保護者への対応	協力と支援	106	保護者からの様々な訴え、要望、意見については安易に受けたり断ったり無視したりしないで、園長や教頭等に報告や相談をしている。	4	3
		107	保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な、意義付けをはっきりとさせてからにしている。	3.75	3
		108	保護者の協力が必要な場合は、園長と相談し具体的な協力の在り方について、保護者と話し合っている。	3.75	3
	守秘義務の 遵守	109	保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従っている。	4	3
		110	幼児、保護者、家族の情報は口外していない。	4	3
		111	教職員や園内の出来事、又、職務上、知り得た園関係者のプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	4	3
	対応上のマ ナー・良識	112	正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて語りかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている。	3.5	2
		113	親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない。	3.5	2.25
		114	保護者の国籍、思想、宗教により、また幼児の性差、障害、個性差によって区別、差別していない。	4	3
		115	長期の欠席や入院との場合は見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている。	3.75	3
		116	園のすべての保護者に対し、親しみを込めた挨拶や会話を心掛けている。	3.75	2.75
		117	保護者からの依頼や伝言等については、メモするなどきちんと対応している。	3.75	2.75

IV 保護者への対応	クレームへの対応の仕方	118	保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している。	3.75	2.75
		119	クレームの内容は、教職員全体で検討し、共通理解の上で対処している。	3.75	2.75
	預かり保育	120	保護者のニーズに応え、適切に実施している。	4	3
V 地域の自然や社会との関わり	地域の自然・人々との関わり	121	地域の人々と親しく挨拶や会話を交わしている。	4	3
		122	地域の自然や機関を指導計画の中で位置付けて活用している。	3.75	2.75
	小学校との連携	123	小学校の教育内容について理解しようとしている。	3.25	2.5
		124	地域の小学校の行事や公開授業に関心を持ち、卒園した子供の情報を得るようにしている。	3.75	2.5
		125	小学校との交流を企画し実践に努めている。	3.75	2.5
		126	幼少連携について、その意義や在り方について研修・研究している。	2.75	2.25
	地域への開放と子育て支援	127	地域開放や子育て支援について具体的な形や内容を理解している。	3.5	2.25
		128	地域開放や子育て支援の在り方について、教職員全体で話し合っている。	3	2.25
		129	子育て支援についてその在り方を教職員全体で共通理解し、子育て支援事業を協力し合っている。	3	2
VI 研修と研究	研修・研究への意欲・態度	130	専門誌等を読んだり、インターネット等で専門の情報を得たりしている。	3	2.25
		131	自分の保育の在り方や悩みについて、他の教師や教頭、園長に相談し、さらに自分で調べるなどして解決しようとしている。	3.25	2.25
		132	他園の見学をしたり、公開保育を観たりしたいと思っている。	2.5	1.75
	教師としての専門性に関する研修・研究	133	幼児の見取りとその内面理解について研修・研究を行っている。	2.75	2
		134	指導計画の作成や記録の取り方、考察の在り方に関する研修研究を行っている。	2.5	1.5
		135	環境構成の在り方について研修・研究をしている。	2.5	1.75
		136	自らの得意分野を確立するための研修・研究を行っている。	2.5	1.75
		137	保護者への対応の在り方について研修・研究を行っている。	2.25	1.5
	遊具・教材に関する研修・研究	138	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知り、様々な利用方法について研究している。	3	2.5
		139	園の遊具や教材について幼児はどのような使い方をするのか予測でき、どのような使い方が危険かがわかっている。	3.75	2.5
	園内の環境に関する研修・研究	140	園地、園庭など周りの環境の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かしている。	3	2.5
	今日的環境に関する研究・研修	141	様々な変化の中で、幼児にとって何が問題であるか、それに対してどのような教育を行わなければならないかについて考えたり学習したりしている。	3.25	2.75

VI 研修と研究	今日的環境に関する研究・研修	142	アレルギー、発達の遅れ(障害)など、最近多くみられる問題について理解している。	3.25	2.5
		143	危機管理について、現状や在り方について研修・研究している。	3	2
	自らを高めるための学習	144	趣味・人との関わりなど、うるおいのある生活を心がけている。	3.5	2.25
		145	保育の専門知識や技能の他に、趣味や読書、ボランティア活動等にも関心をもっている。	3.5	2.25
		146	尊敬する人の話をぜひ聞きたいし、そんな機会に巡り合いたいと思っている。	3.75	2.5

令和6年度 あたご幼稚園 自己評価（子育て支援員・保育士）

【評価】 十分に達成している 4 達成されている 3 取り組まれているが成果が十分ではない 2 取り組みが不十分 1

項 目	NO	内 容	評価	
			R6	R5
I 保育について	園の教育理念・教育方針の理解	1 園の教育理念や教育方針を理解し、共感している。	3	3
	保育内容の理解	2 担当の保育についてその内容をよく理解した上で携わっている。	3	3
	環境の構成	3 安全で清潔な環境を心がけている。	3	3.5
		4 園内外の清掃や整理整頓をしっかりと行っている。	3	3.5
		5 危険はないか、教材、教具の管理、点検に気を配っている。	3.5	3
		6 遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量を配慮して用意している。	3	3
		7 楽しい雰囲気の中で安定して遊び込める環境を心掛けている。	3.5	3
		8 環境がより良くなるように改善や修繕を図っている。	3	3
	保育の評価・反省	9 自分の保育の評価・反省は日々行うようにし、次の保育に生かせるようにしている。	2.5	3.5
II 子育て支援員の在り方・幼児への対応	健康と安全への配慮	10 朝の登園時は特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないか確かめている。	3.5	3.5
		11 幼児の体調の変化に気づき、体調が悪そうな時は安静にさせたり、他の職員へ相談したりするなど適切な処置を行っている。	4	3.5
		12 怪我や事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境構成や声掛けを行っている。	3	3.5
		13 トイレの使い方について配慮し、正しい使い方を具体的に示している。	3	4
		14 不審者が園内に侵入してきたときの職員の行動について理解している。	2.5	3
	幼児の理解 幼児への関わり	15 一人一人の幼児の発達の姿や課題について理解できる。	2.5	3
		16 幼児の話をよく聞いたり言葉にならない思いやサインを受け止めたりしている。	3	3
		17 幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている。	3.5	3.5
		18 幼児の姿を家庭での生活を踏まえて理解している。	2.5	3
		19 一人一人の幼児の思いを把握して寄り添いながら関わっている。	3	3.5
		20 幼児からのアイディアをくみとって遊びを深めている。	3	3
		21 保育関係者として、品位のある言葉、正しい日本語の用法を心掛けている。	3	2.5
		22 幼児の心を傷つける言葉や態度、関わり方をしないようにしている。	3	3.5
		23 幼児一人一人のありのままの姿を受け入れ、良さを認めようとしている。	3	3.5
		24 幼児の話をよく聞いたり、スキンシップを多くとったりしている。	3	3
		25 幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している。	2.5	2.5
		26 幼児に否定的な声掛けをせず、励ましや肯定的な声掛けをしている。	2.5	3.5
		27 禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせたりする言葉や態度は控えている。	2	2.5
		28 幼児を無視したり、体罰を加えたりすることはどのような場合もしていない。	3.5	4
		29 幼児の家庭環境やこれまでの生育歴などを考慮して関わっているが、とらわれ過ぎにも充分気を付けている。	3	3

Ⅲ 良識 ・ 適正	マナー 守秘義務	30	保育時間外でも保育関係者として誇りと自覚を持った言動を心掛けている。	3	3.5
		31	職員全体と親しく付き合い、偏った人間関係をつくっていない。	3	3.5
		32	何かをしてもらったら感謝の気持ちを言葉で表している。	3	3.5
		33	保育中は保育に専念し、勝手に私的な行動をとっていない。	3	3.5
		34	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感を心掛けている。	3.5	3.5
		35	幼稚園の電話やコピー、紙や教材など私用に使っていない。	4	3.5
		36	教職員や園内の出来事、又、職務上、知り得た園関係者のプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	3.5	3.5
		37	職員や園の批判を軽はずみにしていない。	4	4
		38	幼児、保護者、家族の情報は口外していない。	4	4
		39	どの幼児や保護者にも公平な対応をしている。	3.5	3.5
		40	保護者の国籍、思想、宗教により、また幼児の性差、障害、個性差によって区別、差別していない。	3.5	3.5
	保育の楽しみ 喜び	41	幼児と会話をしたり遊んだりすることが好きである。	3.5	4
		42	幼児のささやかな成長が理解できてそれを喜ぶことができる。	3.5	4
		43	幼児と一緒に苦しんだり考えたりすることができる。	3.5	3.5
		44	幼児と一緒に生活を創り出すことが楽しい。	3.5	4
	感性	45	幼児や教育に関する情報をとらえようとしている。	3	3.5
		46	幼稚園や幼児のことだけではなく、自然や社会の出来事にも興味がある。	3	3.5
		47	自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている。	3	3.5
		48	地域のことに関心がある。	3	3.5
Ⅳ 保護者 への 対応	対応	49	保護者に対して正しい態度で対応している。	3	3.5
		50	保護者と親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない。	3	3.5
		51	園のすべての保護者に対し、親しみを込めた挨拶や会話を心掛けている。	3	3.5
	クレームへの 対応	52	保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している。	3	3
	預かり保育	53	保護者のニーズに応え、適切に実施している。	3	4
Ⅴ 地域	地域との関り	54	地域の人々と親しく挨拶や会話を交わしている。	3.5	4
		55	子育て支援についてその在り方を教職員全体で共通理解し、子育て支援事業を協力し合っている。	3.5	3.5
Ⅵ 研究	意欲・態度	56	どんな仕事にも一生懸命取り組んでいる。	3	4
		57	専門誌等を読んだり、インターネット等で専門の情報を得たりしている。	3	3
		58	アレルギー、発達の遅れ(障害)など、最近多くみられる問題について理解している。	3	3.5
		59	危機管理について、現状や在り方について理解している。	3	2.5
	自らを高めるた めの学習	60	趣味・人との関わりなど、うるおいのある生活を心がけている。	3.5	3.5